

～薩摩鶏心会のおいしい鶏卵・鶏肉のPR活動～ 新任先生を卵と鶏肉でおもてなし！

4月8日、本市へ新たに赴任してきた65人の教職員に、卵と鶏肉の炭火焼きが贈呈されました。

市の特産品である卵や鶏肉のおいしさを知ってもらうため、養鶏農家の後継者で構成された薩摩鶏心会が企画したものです。今年はコロナ禍の影響で服務宣誓式がリモートでの開催となったことから、教育長に手渡しました。

薩摩鶏心会では今後も鶏卵・鶏肉の魅力を多くの消費者へ伝えるための活動を行っていきます。



▲新任教職員へと、薩摩鶏心会より卵と鶏肉の炭火焼をいただきました

～吉永純彦さん(穎娃地域)～ 88歳高齢者叙勲 瑞宝双光章受賞

3月22日、穎娃地域の吉永純彦さんが瑞宝双光章を内閣総理大臣から授与され、市長が伝達しました。

吉永さんは、平成2年から平成14年までの3期12年の長きにわたり穎娃町議会議員を務めました。この間、さまざまな行政課題の解決などに尽力され、住民福祉の向上や地域の活性化に大きく貢献した功績が認められたものです。また、昭和30年から平成2年までの34年の長きにわたり、小学校教諭として教育分野においても大変尽力されました。



▲1月に88歳を迎え、受賞の喜びを話した吉永純彦さん(左)

～粟ヶ窪小児童がコンクールで受賞～ 文部科学大臣賞受賞おめでとう！

令和2年度の「楽しい子育て全国キャンペーン」～家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩コンクールにおいて、粟ヶ窪小2年の下窪剣心くんの作品が、小学生の部で最高賞である文部科学大臣賞を受賞しました。

また、県人権ポスターコンクールでも最優秀賞を受賞し、4月13日に家族全員で市長を表敬訪問しました。「これからも勉強やスポーツにがんばっていきます」と元気よく話をしました。



▲「ぼくのおかあさんは100てんよりも はなまるよりも「ただいまが1ばんうれしい」だって」下窪剣心くんの作品

～人命救助で感謝状贈呈～ 見事な連携で人命救助

3月17日、南九州消防署で感謝状の贈呈式が行われました。

昨年11月3日に知覧カントリークラブのグリーン上にて心肺停止状態になった71歳男性に対し、4人(津曲晋作さん・長崎信康さん・今村章二さん・野口徳輝さん)で連携し救急隊到着までの間に心肺蘇生法を実施し、救急隊へ引き継ぎました。この男性は、鹿児島市内の病院へ搬送され、11月29日に退院し、後遺症もなく社会復帰しました。



▲人命救助の感謝状を受け取る4人の方々